

---

9月23日（水） 19:00～21:30

## 【テーマ】 流域経済圏

### 【タイトル】

流域経済圏と水資源 ～命の源流のマネジメント～

### 【概要／狙い】

未定人間の暮らし全てに共通して不可欠な要素、それは「水」です。日本は奇跡的に水資源が豊富と言われており、水のリスクを日常的に感じる機会はほとんどありません。

しかし世界を見渡せば、中国やオーストラリアなど水資源が死活問題になっている国も少なくありません。水に困らない国は珍しいのです。

しかしながら「外国人が過疎地の山を買いあさっている」「地下水量に変化がみられる」など、日本人の水資源も安泰では決してありません。

本講座では人間に必要な水資源の循環にフォーカスし、流域経済圏(※)や、地球規模で枯渇を始めている地下水に関する知識や資源管理のリスクについて学びます。

生命の源となる水循環を起点に、流域単位で経済と環境保全の両立を図る水資源の扱い方を考え、議論します。

(※) 流域経済圏とは、分水嶺から沿岸までの河川の流域圏における経済的なつながりの単位を表す。場合によっては複数の行政区域にまたがる。本来、一つの流域圏は、上流の山村から下流の漁村まで相互に関連しあい、社会、経済的に強いきずなを保有する。古来より人類は大きな河川を中心に集落を形成してきたことから流域経済圏の考え方はとても重要です。

環境循環型社会は流域経済圏内での循環からスタートすべきだと考えています。

---

## 【場所】

オンライン（Zoom）

## 【講師】

橋本 淳司 / アクアスフィア・水教育研究所代表

## 【課題図書】

『日本の地下水が危ない』

著者：橋本 淳司（幻冬舎新書）

## 【参考図書】

『環境を知るとはということか 流域思考のすすめ』

著者：養老孟司、岸由二（PHPサイエンス・ワールド新書）

## 【参考サイト】

[アクアスフィア水教育研究所のサイト](#)

## 【参考写真】

